



生田で学生一人逮捕

和泉は平穏に授業を再開

和泉地区で十八日(火)、法・商・政経・文・経営学部一年次生の授業が再開されたが、予想された全共闘系学生の妨害行動はなく、平穏のうちにガイダンスが行われた。

大学側は機動隊を要請、正門付近に機動隊員の姿がみられたが、学生との直接的なトラブルはなかった。正門前では生田寮生、和泉民主化行動委の学生が、警校してくる一年生にシラを配る程度であった。

和泉校舎正門前で、シラを配る学生。一年生の授業再開。

また数日後に体育祭を控え、同実行委員が宣伝活動を行っていた。

午前十時ごろのキャンパスでは、発校時間を午前九時、十一時、午後一時半と分されたためか、みかける学生数はまばらで、ひっそりとした感じであった。

なお、和泉対策本部調べによると、この日登校した学生数は約四〇〇〇人で九割の登校率。

また、二十一日(金)は同じ和泉地区各学部(法・商・政経・文・経営)二年次生のガイダンスと生田地区上、農学部四年次生の授

業が開始された。和泉では十八日と同じく機動隊が要請されたが、全共闘など教組織の学生がシラを配布していただけで混乱はなかった。クラス単位ではなされたガイダンスは多少討論が行われたが、三〇分をらずで早々と打ち切るところが多かった。